

月日	区分	意見・質問	回答
6/5	質問	多様性、複合化盛りだくさんだが、この建物が熊本のような震度7の地震に2回耐えうる施設かを教えていただきたい。	宮代町の学校施設は平成9年頃から全て耐震化しているため、基本的には地震に耐えると思います。こちらの須賀小体育館も避難施設になっています。震度7の地震が複数ある場合については、誰も分かりませんので明確にはお答えできません。現在は耐震化はしっかり行っています。
6/5	質問	子供たちの気配が感じられる町づくりはとってもいいと思う。具体的な再編に関して、聞きたい。現在、それぞれ学校がある場所に再整備されると思うが、東小学校のある場所に中学校ができると想定しているので、そこを聞きたい。	今年度から再整備を検討する須賀小学校、その次の百間小学校については今の場所で再整備を検討していきます。その他の学校の場所等は現時点では未定です。令和9年度頃に今後の子供たちの数が現在よりも正確に見えてくると思いますので、もう一度検討します。学校の教育制度や社会的な状況の変化を常に考慮しながら適正配置・再編に取り組めます。
6/5	質問	登下校についてと、実際にどうなっていくか聞きたい。学校までの距離があると子供が不登校にならないか心配。学校に行くハードルが上がると親としても子供としても大変だと思う。徒歩・自転車だけでと天候等もあるので辛い。バスやタクシーなども検討されるか。この計画は20年とのことだが、生徒が少なくなってくる課題に関して、現在の人間関係の固定化等への対応は？部活や音楽の授業などを一緒にできるのでは？今時点でできる取組と登下校についての取組を聞きたい。	審議会の中でも子供たちの通学が優先されるとの意見が多くありました。審議会の議論の中で、宮代町の久喜寄りの端から笠原小学校まで距離を測ると6.8kmあり、自転車などでの通学は難しいとの意見でした。学校の場所は白紙ですが、通学の安全を確保する取組にしていける必要があります。バス等の別の手段を取り入れながら、子どもたちの安全性を確保していく必要もあると思います。今でもできることとしては、小中一貫の教育の取組として、小学校と中学校の交流等を実施しています。また、学校によっては近隣の学校と部活を合同で実施しているケースもあります。合同で実施する上で、課題等もありますが、できることから取り組んでいきたいと思っています。
6/5	質問	宮代町は農のあるまちづくりを進めてる中で、分家であっても農地に家を建てられないと聞いた。須賀地区、百間地区は家が増えている様子がないので、これ以上子供が増えないのでは。小学校3校配置だと、百間地区、須賀地区はほとんど人数が減るのでは。そのあたりはどういう風に進めるのか。	国全体が人口が減少している中で、宮代町では市街化区域のエリアを広げることが国・県に認められない状況です。町としては地域の活性化策に取り組めますので、必ず人口が増えないとは思っていません。小学校は地域の中にあつて、子供たちが安全に通える状況が優先されるべきだと思います。学校の規模を考えていく点もありますが、子供たちが通学できる範囲にあること、地域の皆様に見守られて成長できる環境が必要だと思います。小学校は地域の拠点として、地域の皆様に愛されるようにしていきたいと思っています。中学校については、様々な人間関係を広げる時期ですので、現時点では一定の規模を確保するために再編を検討する必要があると考えています。
6/5	質問	小学校を駅の近くで再編したいとのことだったが、駅の近くに作るメリットを感じていない。東小学校も騒音の苦情があると聞く。駅の近くは家が多く、学習環境がよくないのではと思うので、どのようなメリットがあるか伺いたい。	小学校を駅周辺に移転するわけではなく、駅毎の地域性として3つに分割したエリアで再編していくものです。百間小学校を姫宮駅近くに移転するようなものではありません。姫宮駅エリアの地域の中心施設として百間小学校を再整備していきたいと思っています。須賀小学校については、和戸駅周辺の地域の核として再整備していきます。笠原小学校と東小学校の再編に関しては東武動物公園駅周辺エリアの地域の中心施設として考えていきたいと思っています。
6/5	質問	町として少しでも若い人、人口、子供が増える政策を行ってきたか。今後もうるか、行わないかを聞きたい。宮代町も人口が減ると電車の本数も減らされるのでは。町が成り立たなく、機能不便に陥るのでは。	和戸駅ですと、西側に住宅を建てられないか町として検討してきました。人口が減少する世の中で、国・県においては、市街地の拡大を行わない方針になっています。今年度、市街化調整区域の中で道路を広げる、住宅を建てる仕組みを検討するために検討を進めています。取組の内容が今年度、来年度に見えてくると思います。須賀小学校については、多機能化として地域の中心施設として整備していきますので、須賀地区の魅力を高めていきたいと思っています。
6/5	質問	今後、10年間は小学校を維持するとのことだが、現在の小学校の学区の割り当てはどこを見ればよいか？	学区につきましては、ホームページに掲載しています。また、宮代の通学区域の特徴として自由学区制を行っています。狙いとしては、ご家庭が行きたい学校を自由に選択できること、学校が特色ある学校作りをしていくことです。通学区域はありますが、それを越える形でも通学できます。詳細は、教育委員会へご連絡いただければと思います。
6/5	質問	今回の説明会では、過去の10年のお話とこれからの20年のお話があったが、私たち一般町民の意見・声は今後どのような形で反映されるか？施設の多機能化の話もあったが、地域の住民はどのような形で関われるか。	今年度から須賀小学校の再整備を含めた須賀和戸地区の地域の拠点作りを進めていきます。その拠点作りを進めて行く際には、地域の皆様にもお声がけをしますので、ご参加をさせていただいて一緒に新しい学校を考えていきたいと思っています。今後の20年間の中では、令和9年度から改めて方向性を再検証しますので、皆さんの声が反映できるように取組を検討していきます。
6/5	質問・意見	令和4～23年に向けて、長期的に検討していることは慎重で良いことだと思う。道佛の人口が増えているが、町の北と南は人口が増えていない。同じ宮代町でも町の中心に人が集まっている状況が悲しい。宮代町全体を活性化させて欲しい。自然を壊してまで家を建てるのではなく、空き家などを活用して欲しい。現在の須賀中学校で部活動が縮小している。先の事だけではなく、今現在のことも考えて欲しい。須賀小学校の再整備については、再整備によって工事等で遊べる環境や学習環境が狭まるのか具体的に教えて欲しい。未来の話だけではなく、今の子供たちへの取組も説明してほしい。	道佛地区の区画整理事業により人口は増えていますが、過去には和戸・姫宮でも団地ができていた時期がありました。人口増加には住宅開発との関係性が強くあります。空き家については、町として課題だと思っていますが、同時に資源でもあると思いますので、資源に変えられるよう取り組んでいきたいと思っています。部活動については、子供の数が減ると部活動ができないとの声もあります。子供の数が減っていく中で、現状では合同チーム等で対応していくしかないと思います。今回の須賀小学校の再整備のやり方ですが、これから地域の皆様と大きなビジョンである基本構想を作りたいと思っています。校庭等についても町が勝手に決めるのではなく、皆さんと一緒に考えていきます。学校間で子供の数にこれからは人数に差がでることを心配されていると思いますが、小学校については地域の中で通える、地域の皆様に育まれる環境にしていきます。
6/5	質問	子供たちにとって最高の教育環境を提供するにはどうしたらよいかとの話だが、財政、お金の面からの検証はしなかったか。今後少子高齢化が進む中で、重要だと思うので、お聞きしたい。	学校の再整備を行うにはお金が必要になります。したがって一度に全てを行うのは難しいので、計画的に取組を進めることで、財政の平準化をしていきます。町の財源だけではなく、国・県の財源を確保しながら取組を進めていきたいと思っています。老朽化した施設を抱えていくこともお金がかかりますので、しっかりと検討して取組を行っていきます。
6/5	意見	人口問題を宮代町は抱えている。財政についても大きな課題だと思う。今回のような町の重要なことを進めて行くときはタウンミーティング等を行ってほしい。回答は知らない。	
6/5	質問	説明を聞いていた中で、須賀の地域コミュニティとのことだったが全体を通して地域のコミュニティという言葉でふわっと纏められていて、何をすることが分からない。そこらへんの道に子供がいる方が地域が活性化するのは、コミュニティ化とは何かを聞きたい。	コミュニティの希薄化がどの地域でもだんだん課題になっています。コロナ禍になり、地域の集まりや行事ができなくなってきて希薄化が進んでいます。町ではそれを良くないと考えていて、地区の皆さん同士で大人も子供も顔を知っている環境を作っていきたいと考えています。今回検討する学校の中で、教育施設だけではなく、休みの日に大人の方も使うコミュニティの部分を含めた多機能施設を考えていきます。子供だけが行く学校ではなく、大人も地域活動ができる場所、防災の拠点としていきます。学校を地域づくりの拠点にもなる施設として多機能化の大きな括りで考えていきます。